

交流センターだより

おおとし

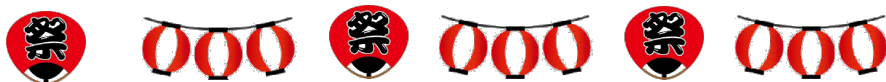


大歳地域交流センター
公式X(Twitter)アカウント

No.185
令和6年
8月号

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,057 世帯数 7,012
開館時間 8時30分～17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) 令和6年7月1日現在

第38回おおとし夏まつりを開催します！



日時：8月3日(土) 18:00～21:00

場所：大歳地域交流センター前駐車場



おおとし夏まつりを開催します。ステージ、総踊り、夏まつり大抽選会など、盛りだくさんのプログラムに加え、ステーキ、焼き鳥、かき氷、生ビール、くじ引き、輪投げなど模擬店も多数出店予定です。皆様のご来場をお待ちしています！

※ 雨天の場合は縮小開催とします(ステージは中止)。

※ 駐車場はありません。自転車や徒歩でまつり会場へお越しください。

自転車でお越しの方は所定の場所へ駐輪してください。

※まつり当日はシャトルバスを運行します。運行時刻は7月15日号配布の運行表をご覧ください。

○詳細は7月15日号配布の「おおとし夏まつりプログラム」をご覧ください。



分館対抗卓球大会を開催しました！ みんなの広場からのお知らせ

6月30日(日)大歳小学校体育館にて開催しました第47回分館対抗卓球大会の結果を報告します。

優勝 中矢原A分館
準優勝 岩富分館
3位 和田分館
B級優勝 下湯田分館



優勝 中矢原分館のみなさん

暑い暑い8月！

交流センターでクールシェア！

楽しく過ごしましょう！

会員制ではありません。どなたでも参加OK！

申込みは不要です。お気軽にどうぞ♪



★内 容 ①みんなで歌おう！歌声喫茶
山口市民の歌【ふるさとの風】や懐かしい
思い出の歌をうたいましょう！

②コーヒースタンド

★日 時 8月17日(土)

13時30分～15時30分

★場 所 大歳地域交流センター 講堂

★講 師 吉末智津子先生

★参加費 100円

★連絡先 大窪：080-2904-8193

第3回 大歳地区三世代交流 カローリング大会



カローリングは

ルールは簡単です。初めての方でも、気軽に、安全に、楽しくプレーできるスポーツです。

★参加者募集★
開催日
8/18(日)

大歳まちづくり協議会では、
カローリングを通じて地域の仲間づくりを進めるため、
第3回大歳地区三世代交流カローリング大会を
開催します。(参加対象：小学生以上)

- ◆ご家族や友だちなど、3人1チームで申し込んでください。
- ◆お一人でもOKです。(主催者でチーム編成します。)

大人も子どもも
楽しめるよ～!

運営
ボランティア
募集中!
申込は事務局へ!

会場 大歳小学校体育館

日時 8月18日(日) 9時30分～12時(受付9時～)

参加費 無料：参加賞があるよ!♥

持参物 軽い運動のできる服・上靴・飲み物・タオル

申込み 大歳まちづくり協議会事務局(☎：920-1700)に申し込んでください。

締め切 8月9日(金) ※ただし 先着順とし、定員54人になり次第締め切ります。)

ため池ハザードマップについて

市では、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」の施行に伴い、県が指定した防災重点農業用ため池のハザードマップを市ウェブサイトおよび該当する総合支所・地域交流センターで閲覧できます。日頃から、浸水想定区域や避難場所を確認するなど迅速な避難行動や災害応急対応を行えるよう心がけましょう。

〇市ウェブサイト

URL <https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/65/102315.html>

QRコード



大歳地域交流センターをクーリングシェルターに指定しました

○クーリングシェルターとは

クーリングシェルターとは「熱中症特別警戒アラート」が発表された際に、熱中症による人の健康に係る被害の発生を防止するために開放する冷房設備を有する施設です。

○開放日・利用時間

熱中症特別警戒アラートが発表された日の翌日の原則、8時30分～17時15分（土日祝を含む）

○利用上の注意

水分等の飲食は各自でご用意ください。
温度調節のできる服装でお越しください。

○熱中症特別警戒アラートとは

熱中症特別警戒アラートとは、県内において、全ての暑さ指数情報提供地点における、翌日の日最高暑さ指数（WBGT）が35（予測値）に達すると予測される場合に前日午後2時頃発表されます。



問い合わせ先

環境政策課 TEL：083-941-2181

健康福祉部会って何やってるの？ ～大歳まちづくり協議会の一部会です～

構成団体：民生児童委員、福祉員・食生活改善推進協議会、なすの会

事業：主として、見守りを必要とする70歳以上の1人暮らし及び2人とも75歳以上の世帯等への支援体制の充実、高齢者の交流の場づくりや生きがいづくりの充実

活動：①今年度新規に上記対象者になられた見守り希望の81世帯に、本人の情報を書いていた
だき、又、困ったときの相談先（例：鴻南地域包括支援センター等）を記した「安心カ
ード」やお出かけ時の「携帯カード」を配布。また、今年度新規に75歳以上になられ
た1人暮らし及び新規に2人とも75歳以上になられた63世帯に「非常時備品」の一
部を民生児童委員を主体に配布。（※この活動は毎年実施）

②年々巧妙になる詐欺被害から身を守るためのコツや健康維持に役立つ研修会を今秋に
大歳地域交流センターで開催予定。

問い合わせ先

大歳まちづくり協議会健康福祉部会長

西本（090-8998-4043）

【大歳地区8月の行事予定】

1日（木） 燃やせないごみの日

3日（土） 第38回おとし夏まつり（18:00～21:00）

7日（水） 母子相談

9日（金） ぶっくん来館日（15:20～16:00）

17日（土） みんなの広場（13:30～15:30）

18日（日） 第3回カローリング大会（9:30～12:00）

19日（月） 金属・小型家電製品の日

21日（水） びん・缶の日

22日（木） 健康チェック・健康相談会（受付 10:00～11:00）

23日（金） ぶっくん来館日（15:20～16:00）

26日（月） 古紙ペットボトル分別収集（大歳①）

30日（金） 古紙ペットボトル分別収集（大歳②）

※8月のパソコン相談は中止

※木曜日はプラ容器包装分別収集



陶の正護寺を訪ねて ～史談会マイクロツーリズム記～

去る 6/17、史談会メンバーで陶地区の「正護寺」見学に行きました。梅雨入り前の曇り空のもと、ふるさと陶史楽会の副会長さんによるご案内を受けながら正護寺および陶地区周辺の歴史を学びました。

陶の地名は、奈良時代を中心に須恵（すえ）器の生産地として陶業で栄えたことに由来するといわれます。この地に館を構えた陶氏 2 代の弘政が延文年間（1356～60）、祈願所としてここ正護寺を創建したということです。

まずお目にかかったのは、こちらのご本尊である釈迦三尊「宝冠釈迦如来座像」及び両脇侍像です。令和 5 年 1 月、山口市の有形文化財に指定されました。その造形の素晴らしさから高名な仏師の作ではないかと考えられていましたが、2021 年に専門家による調査が行われ、南北朝時代の仏師院什の作と判明しその文化的価値が証明されました。ふっくらと優しい表情が参拝者のこころに安らぎを与えてくださいます。1569 年に起きた「大内輝弘の乱」でこのお寺が焼かれた際、寺僧がこのご本尊を前の池に投げ込んで守ったという言い伝えもあります。また、県有形文化財（昭和 41 年指定）の「木造薬師如来座像」もこちらに安置されており、大ぶりの造りの表情や服のしわの細かさなどに平安時代初期の作であろう特徴がよく表れています。カヤの木の一木造りでどっしりと構えたお姿からは、1000 年以上昔から陶地域を見守り続けておられるであろう「お薬師さま」の風格を感じました。



宝冠釈迦如来座像（正護寺本尊）

画像提供：陶連合自治会

ところで、「大内輝弘の乱」で焼失した正護寺は江戸時代初期に再興されますが、住職不在の時代が続きました。木造薬師如来座像がもとめられた陶系根の光明寺は廃寺となりましたが、ご本尊は居場所を転々としながらも元のお姿を大きく損壊することなく残りました。その間この仏様が自分たちを守ってくださると信じ、守り続けた陶の村人の思いはいかなるものであったのでしょうか。

また境内および墓地には陶晴賢の分骨塔、『小郡宰判』最後の代官北川清助の墓所、儒学者で吉田松陰に影響を与えた人物としても名高い富永有隣の招魂碑などがあり、陶ゆかりの人々の功績が伝わる場所でもあります。このほかにも正護寺周辺では、古代から幕末維新の頃に至るまで陶地域ゆかりの史跡を見ることができますが、到底ここに全てを掲載しきれませんので、興味を持たれた方は山口市教委文化財保護課ホームページ「山口市の歴史文化資源」[Q](#)など参照されるとよいと思います。

大歳地域交流センターから陶地区まで車で約 20 分。約 2 時間（移動時間含む）の充実した見学会となりました。コロナ禍で「マイクロツーリズム」が話題となりましたが、山口市内や大歳地区内でも、まだまだ訪



見学の様子（正護寺境内）

れたことのない名所旧跡や美しい自然景観が近くにあることでしょう。近年は各地区で看板やマップが製作され、ホームページでも紹介されていますので、近くにどんなスポットがあるかを調べて巡ってみるのは楽しいことと思います。大歳地区内でもまだ行ったことのない場所があれば、史跡看板などを手がかりに訪れてみてください。幼い頃に近所を探検して廻った日々のように、「こんな近くにこんな素晴らしい場所があったのか」という感動がよみがえると思います。史談会でもそれらを伝える活動を今後とも続けていきたいと思っています。

（大歳史談会 文責・竹田暁子）

参考資料：「陶氏と正護寺」（陶連合自治会）